



やるき
ほんまき
き
さ
ま
き

木佐木

神奈川県議会議員
日本共産党

2024.5.22
木佐木ただまさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021

Profile
▶1984年山口県出身
▶鶴見区馬場在住
▶神奈川大学法学部卒
▶よこはま健康友の会会長
▶横浜東民商顧問

公務をないがしろにする態度は反省を！



加藤議長(左から2番目)に申し入れる共産党県議団

5月20日、先の議会で議決された自民党会派による国際園芸博を開催していたカタールへの県政調査において、調査団団長が議長などに届けることもなく途中帰国をしていた問題で、自民党団長が謝罪したものの、本人からの謝罪も説明もないため、派遣権者である議長に対して改善の申し入れを行いました。

途中帰国の理由は明らかにすべき

公務の視察であっても、途中で離脱すべき事情が発生することはありうることです。そのため、県の規定でも議長が適切であると認める場合には、離脱の際の費用を公費で負担することもあるとのことでした。

しかし、今回議長は適当であるとは認めておらず、1人当たり81万余の旅費のうち23万余を当該議員が返還したと報道されています。調査団の団長が、適当と認められない理由で途中帰国をするような視察では、その正当性・必要性が問われることになるのではないのでしょうか？

県政調査の在り方自体の見直しを

以前も、議会で討論した際にニュースでお知らせし

たように、私たちも視察自体の必要性は感じています。しかし、委員会での視察や政務活動費での視察ができるようになって今、さらに別枠で会派での視察のための制度や予算を恒常的に維持する必要性はないと考えています。

議会に送り出してくれている住民の理解を得られる議会活動であるのか、私自身も襟を正しながら取り組んでいきたいと思えます。

神奈川県議会議員 加藤 元弥 殿

2024年5月20日

日本共産党神奈川県議団団長 大山奈々子

自民党県議団の県政調査において松田良昭議員が視察を中断し、途中帰国したことに関する本人の謝罪と経過説明及び再発防止策を求める申し入れ

日頃からの円滑な議会運営の推進に敬意を表します。
4月10日に開催された団長会において、自民党県議団団長から、3月26日から3月31日まで行った県政調査において松田良昭議員が、議長や自民党団長に伝えないうまま、視察を途中で切り上げ、帰国したことについて謝罪がありました。
松田議員は、この県政調査の調査団団長として、責任のある立場であるにも関わらず、調査団にも突然の報告で帰国したとのことで、この行動自体が問題です。
私たちは団長会の後に謝罪があったことを聞きましたが、議会としては大きな問題であり、本人が議会の公式な場で謝罪をすることが必要と考えます。

そもそも県政調査は、議会で議決した議員派遣であり、公務です。それを途中で帰国することは、議会の議決をないがしろにするものであり、視察そのものの必要性も問われることとなります。

今回の帰国理由は私的な都合と報道されていますが、公務よりも優先される私的な都合とはどんなものなのか明らかにするとともに、帰国するにあたり、飛行機のチケットやホテルのキャンセルなどの手続きは、いつ、誰が行ったのか。さらに、途中帰国について事前に誰にも知らせていなかったのかなど、視察を途中でやめた経過を明らかにし、今後このようなことが二度と起きないように再発防止を図る必要があります。

そこで、以下の点を要請します。

記

- 1 松田良昭議員本人が、議会の公式な場で謝罪をすること。
- 2 帰国理由と飛行機の手配やホテルのキャンセルなどの諸手続きをいつ、だれが行ったのかなど、費用負担を含め経過を明らかにすること。
- 3 今後このようなことが起きないように、再発防止策を示すこと。

以上

議長あての申し入れ文

